

「JENESYS2.0」

2017年度中国高校生訪日団第2陣Aコース

訪問日程 平成29年10月17日(火)～10月25日(水)

1 プログラム概要

中国教育部が派遣した2017年度中国高校生訪日団第2陣Aコース計150名が、10月17日から10月25日までの8泊9日の日程で来日しました。(団長：馬 嘉賓(マ・カヒン) 中国教育部基礎教育司 副司長)

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団は、東京都を始め、北海道、群馬県、新潟県、香川県、沖縄県、山口県、埼玉県を訪問し、「クールジャパン」を含め、様々な分野における日本の魅力、強みを体感したほか、高校訪問・交流や農家民泊等を通じて、日本の高校生や一般市民との友好交流と相互理解を深めました。

2 日程

10月17日(火)

第1・3・4分団： 羽田空港より入国、浅草寺見学
 第2分団： 成田空港より入国、浅草寺見学
 第5分団： 羽田空港より入国

10月18日(水)

共通： オリエンテーション
 企業とイノベーションに関する講義(法政大学)
 歓迎会
 第1・3・4分団： 東京タワー見学
 第2・5分団： パナソニックセンター東京見学

10月19日(木)

第1分団： 北海道へ移動、札幌市立大学視察
 第2分団： 群馬県へ移動、サンデンホールディングス株式会社視察
 第3分団： 香川県へ移動、日プラ株式会社視察
 第4分団： 沖縄県へ移動、株式会社トリム視察
 第5分団： 山口県へ移動、多機能フィルター株式会社視察

10月20日(金)

第1分団： 学校交流①(北海道札幌あすかぜ高等学校)
 第2分団： 学校交流①(高崎市立高崎経済大学附属高等学校)
 第3分団： 学校交流①(香川県立三木高等学校)
 第4分団： 学校交流①(沖縄県立名護高等学校)
 第5分団： 学校交流①(山口県立西京高等学校)

10月21日(土)

第1分団： 小樽運河、大倉山展望台見学
 第2分団： 富岡製糸場見学、農家民泊体験(みなかみ町)
 第3分団： 農家民泊体験(豊島)
 第4分団： 沖縄美ら海水族館見学、農家民泊体験(本部町)
 第5分団： 秋芳洞、松陰神社見学、農家民泊体験(萩市)

10月22日(日)

- 第1分団：北海道神宮見学、東京都へ移動
- 第2分団：農家民泊体験(みなかみ町)、新潟県へ移動、草履・リース作り体験
- 第3分団：農家民泊体験(豊島)、東京都へ移動
- 第4分団：農家民泊体験(本部町)、東京都へ移動
- 第5分団：農家民泊体験(萩市)、東京都へ移動

10月23日(月)

- 第1分団：学校交流②(東京都立総合工科高等学校)
- 第2分団：学校交流②(新潟県立新井高等学校)
- 第3分団：学校交流②(東京都立田柄高等学校)
- 第4分団：学校交流②(東京都立調布南高等学校)
- 第5分団：学校交流②(埼玉県立南陵高等学校)

10月24日(火)

- 第1・2分団：食品サンプル製作体験
- 第3分団：東京都へ移動
- 第4・5分団：江戸風鈴絵付け体験
- 共通：商業施設視察、歓送報告会

10月25日(水)

- 第1分団：羽田空港より出国
- 第2分団：浅草寺、東京タワー見学、羽田空港より出国
- 第3分団：お台場、船の科学館見学、羽田空港より出国
- 第4分団：お台場、日本科学未来館見学、羽田空港より出国
- 第5分団：東京タワー見学、成田空港より出国

3 写真

<共通>



10月18日 セミナー（法政大学）（東京都）



10月18日 東京タワー見学（東京都）



10月18日 歓迎会（東京都）



10月18日 歓迎会（東京都）



10月18日 歓迎会（東京都）



10月24日 歓送報告会（東京都）



10月24日 歓送報告会（東京都）

<第1分団>



10月19日 札幌市立大学視察（北海道）



10月20日 北海道札幌あすかぜ高校訪問・交流（北海道）



10月21日 大倉山展望台見学（北海道）



10月23日 東京都立総合工科高校訪問・交流（東京都）

<第2分団>



10月19日 サンデンホールディングス(株)視察(群馬県)



10月20日 高崎市立高崎経済大学附属高校訪問・交流(群馬県)



10月22日 草履・リース作り体験(新潟県)



10月23日 新潟県立新井高校訪問・交流(新潟県)

<第3分団>



10月19日 日プラ株式会社視察(香川県)



10月20日 香川県立新井高校訪問・交流(香川県)



10月21-22日 農家民泊体験（香川県）



10月23日 東京都立田柄高校訪問・交流（東京都）

<第4分団>



10月19日 株式会社トリム リサイクル事業部視察（沖縄県）



10月20日 沖縄県立名護高校訪問・交流（沖縄県）



10月21日 沖縄美ら海水族館（沖縄県）



10月23日 東京都立調布南高校訪問・交流（東京都）

<第5分団>



10月19日 多機能フィルタ株式会社視察（山口県）



10月20日 山口県立西京高校訪問・交流（山口県）



10月21-22日 農家民泊体験（山口県）



10月23日 埼玉県立南陵高校訪問・交流（埼玉県）

4 参加者の感想（抜粋）

○ 9 日間で一番印象深かったことは日本の街が清潔で日本の人たちが温かく友好的だったことだ。いい加減なところがないということも反映した、厳然とした秩序と規範。食事の前に「いただきます」というのは食べ物に対する謙虚さと尊敬を表している。一を知って十を知ると言うが、その通りだと思った。細かい配慮が日本の人の繊細さと勤勉さを表している。

この他に印象深かったのは日本の高校生の学校生活だった。北海道札幌あすかぜ高校で数学と体育の授業を体験した。授業では、日本の高校生の緊張と温かさを感じ、試合の時は一致団結した。東京都立総合工科高校では鑄造と溶接の実習をした。同学年の人たちと一緒に作品を完成させた達成感と思い出は忘れられない宝物になった。

帰国後、友人や家族と今回見聞きしたことや訪問の成果、例えば授業を聞く時の心構えや学校で感じたことなど、を分かち合いたいと思う。私たちの訪問交流を通じて両国の関係がよりよい方向に発展していくと信じている。

○ 初めて日本に来て、とても驚いたことがあった。浅草に行った時、手にゴミを持っていたが、どこを歩いてもゴミ箱が見つからない。それなのに町は整然として清潔だった。中国では平均で 100 メートルに一つくらいゴミ箱がある。浅草のようなにぎやかな場所であれば、ゴミが散乱してしまうだろう。日本人の子供からお年寄りまで資質の高さを感じた。日本のインフラ施設、例えば洗面室やエレベーターなど、設計の段階から完璧だ。自動販売機には分別ゴミ箱が隣に設置されていた。設計の概念に細やかな心配りがなされていてとても便利だと思う。

日本企業の創造力は人々の生活を便利にしようということが基本にある。無駄を省いて簡素にし、持続的に発展するという理念だ。私たちが学ぶべきことだと思う。

中国は現在インターネットが発達している。新しい発明もネットと密接に関係している。帰国したら、私は日本との友好と日本の科学技術の理念を伝えたいと思う。中国が基礎インフラを整備し、良好な社会秩序を確立する上で、日本から学べたらよいと思う。私は友人、家族、周りの人たちと日本で学んだことを分かち合い、人々に信頼されるような行動をし、中日関係の発展を支える使者になりたいと思う。

○ 私はこのアンケートに誇張なしに記入できることを嬉しく思う。なぜなら日本を離れる前夜の歓送会で大変驚かされた出来事があったからだ。

私の誕生日は 17 日で、誕生日に来日した。このアンケートを書いているのは 24 日で、私たちが日本を離れる予定の日だ。私は受け入れ団体のみなさんが私の誕生日をサプライズで祝ってくれたことにも、歓送会で誕生日を祝う歌を歌ってくれたみなさんにも、大変感謝している。

初めての異郷での誕生日で、寂しい気持ちもあったが、昨夜は家にいるような温かい気持ちだった。会場にいる生徒、先生、日本側の代表者の方が、みんな心から祝福してくれていることを感じた。

日本に着いた初日に感じたのは、日本の人が相手の事を考えてとても細やかに気配りしていることだ。昨夜の私への誕生日祝いはこの気配りを証明していると思う。

習主席が「国と国との関係は、国民同士の親善友好にかかっている」とおっしゃったが、たくさんの方がこの日本側の温もりに触れられたらよいと思う。私も今回の訪問で得た感動の全てを、家族や友人たちと分かちあいたいと思う。

○ 最も印象深かったのは学校訪問と交流だ。北海道札幌あすかぜ高校の長い廊下に、日本の生徒が書いた中国書道が飾られていた。たくさんきれいな作品は心を込めて書いたものだということがわかった。茶道の体験では、所作が細心の注意を払って行われることに感動した。日本の生徒は中国の文化を学びそして楽しんでいた。日本の生徒が自己紹介をする時は自分の名前を中国の漢字で書いていた。漢字を書くことで交流することもできた。日本人がよく学び、優れた文化を吸収するという特徴を持っていることを私は忘れないうし、敬服した。中国の人や生徒はもっと伝統文化を大切にし、洗練させていくべきだと思った。

帰国したら私は家族や友人に、日本の高校生は温かくて、素敵で、元気いっぱいだったことを話したい。日本人は外国の文化を上手に取り入れている。中国の文化を洗練させ、向上に向上を重ねていて、それが生活の中に浸透している。日本の売店やコンビニエンスストアの店員が真面目であったことも印象に残った。またぜひ日本に来たい！

○ 最も印象深く感じたのは、日本人の細やかな心配りと「匠の精神」だ。食品サンプルの一番小さい繊細な部品がとても丁寧に製作されていた。高校の建築専科を体験した時、一番小さな木材でも手を抜いていなかった。日本人は集中して物事を実行し、他人のためになることを考えている。ホテルでも感動したことがあった。二人部屋の備品は色が分けてあって間違えて使わないようにしてあった。心配りが行き届いている。

帰国したら周囲の人たちに、日本人は万物を敬い、伝統文化を尊重し、食品という資源を大切にしている、それは私たちが学ぶべきことだと話したい。

○ 最も印象深かったのは民泊体験だ。短い十数時間の滞在だったが、日本の農家でのもてなしに感動した。ホームステイ先のおじいさんとおばあさんはとても温かく、もてなし上手で、丸一日かけて美味しいご馳走を用意してくれた。生徒の中には一緒に温泉に連れて行ってもらったり、和服を着せてもらったり、隣に住んでいる中国人を招いておしゃべりした人もいた。送別の時に自分が作った米をもらった生徒もいた。本当に行き届いた心配りだった。

日本人の温かさと礼儀に感動した。台風の影響で、授業が中止になりそうだったが、私たちのために急遽調整してくれた。全部の予定がこなせなかったことが心残りだ。ホームステイ先、レストラン、ホテルなど、帰る時はどこでも皆が、バスが見えなくなるまで大きく手を振ってくれた。私は、帰国したら周囲の人たちに日本の友人たちの友好と善良さを伝えたいと思う。

○ 最も印象深かったこと：日本の企業経営が自然と調和しながら発展することを希求しているということ。例えば、サンデンホールディングス株式会社の工場は森林の中にあるが、自然破壊はしていない。周囲の生態と調和し共存している。

周囲に伝えたいこと：日本の人の謹厳な態度。日本の生徒が活発快活で温かくもてなしてくれたこと。

○ 帰国したら、日本の清潔で秩序立った社会と個々人の環境意識の高さを伝えたい。日本の街に全くゴミがないことに驚いた。日本人は整列する時も道路を渡る時もみんなルールを守っている。街中でペットボトルの蓋がたくさん入った袋を何度も見かけた。工場には廃棄物を処理する設備が整えられ、日本人の環境意識の高さを感じた。これらの習慣の良い所を吸収し、祖国がもっと美しくなるようにしたいと思う。

○ 最も印象深く感じたのは、高崎から新潟に行った時のことだ。不注意で眼鏡をホテルの部屋に忘れてきてしまった。眼鏡がないとこれから先のプログラムで不便なので、私は慌てた。しかし、思いもかけなかったことに高崎のホテルが私の眼鏡を新潟まで送料を払って送ってくれたのだ。

帰国したら、私は日本の社会の基礎、環境面での優れている点を伝え、友人に日本の人々と私たちが調和し、平和のために努力するべきだと伝え、日本に対して不愉快な態度を取らないようにしてもらいたい。

○ 最も印象深かったことは日本側から同行した先生のことだ。とても良い方で真摯な対応をしてくれた。私たちは感動した。スナップ写真、集合写真、一緒に遊んだことなど、充実した有意義な訪問だった。帰国したら私は JENESYS2.0 のことをみんなに伝え、世界の青少年の交流と協力を進め、利益を分かち合い、世界運命共同体を作るために努力し、新しい未来にむかって邁進し、新しい世界に向かって歩んでいきたい。日中の文化交流の基礎は民間交流にある。未来と日中友好は青少年が担う。それぞれが日中友好を更に深めていくことを念頭に置いて進めていかなければならない。初心を忘れず、前に進み続けていきたい。

○ 私が最も印象深く感じたことは香川県立三木高校への訪問だ。学校はきれいで、先生も生徒も私たちの訪問を喜んでくれた。一緒に昼食をとり、温かく交流した。私は日本の高校生活は私たちよりもゆとりがあると思った。日本の学校は多方面での教育に力を入れている。私も茶道部の活動に参加した。茶道具は清潔に整理されていた。お茶をたてる作法は厳格で、全体的にとっても強い印象を受けた。抹茶はとても濃かった。私は日本の茶道文化が好きになった。学校を去る時、新しく友人になった生徒とプレゼントと連絡方法を交換し合った。日本の友人の温かい気持ちに私はとても感動した。また会いたいと思う。

帰国したら訪日で見聞きしたことを周りの同級生、家族に伝えたい。日本の美しい環境や、整った街、純朴な国民性、温かくおもてなし上手であること、それらすべてを伝える価値がある。周りの人にも日本を理解して欲しい。

○ 訪日活動で私が最も印象深かったことは香川県立三木高校での体験だ。①日本の学校はとてもきれいで、教室ではみんなスリッパを履いている。これは中国とは違う。②日本の生徒は温かく、友好的で、言葉が通じなくてもいろいろな方法で交流してくれた。交換したメールアドレスにメールをしたらすぐに返信をくれた。③学校は日本の伝統文化をとっても重視している。私たちは茶道部の体験をした。三木高校の生徒が使っている道具はと

ても繊細で美しく、正式な礼儀をもって私たちに日本の茶道を紹介してくれた。

○ 私が印象深く感じたことは三つある。

1. 日本人は細やかな気配りを重視する。日本の多くのインフラを整備する際には多くのことを考慮して、利用者が「気持ちよく、快適に」使えるようにしている。私は日本人の「他人のために考える」という概念がここに表れていると思った。

2. 日本人は伝統文化を重視している。日本の高校には茶道、三味線等日本の伝統文化を受け継ぐ活動がある。このことは政府が伝統文化をかなり重視していることを表している。また生徒は積極的に真面目に活動に参加している。これは日本人の伝統文化を重視する姿勢を表している。とても大切なことだ。

3. 資源のリサイクル：現在、地球資源は枯渇している。日本は資源のリサイクルを重視している。日本ではトイレで「再生水」を使用し、街の緑化には「再生軽石」を使用している。ゴミも分別回収されており、これらは全て資源枯渇問題に貢献すると同時にコストの節約になる。リサイクルという概念はとても先進的である。

この三つ以外に私が周囲の人に伝えたいこと：日本人は厳粛で、人に接する時は心配りをし、礼儀正しい。

○ 最も印象深く感じたこと：①日本は細やかな心配りを重視する②日本人は時間を大変重視する。

伝えたいこと：①日本の学校、教室、教育目標、理念、豊富で多彩な部活動。

②日本人の一般的な生活水準、生活規律、生活態度

③日本の気候、言葉、飲食

○ 最も印象深かったこと：日本の同年齢の人たちと交流し、いろいろな活動に参加したこと。日本の高校生の学習と生活について理解を深めた。違いの中に共通点を見つけ、深い友情を結ぶことができた。

周囲の人に伝えたいこと：日本は現代的な大都市、東京だけでなく、風光明媚な島々にも独特の伝統文化があり、豊富で多様な食文化がある。

○ 最も印象深かったのは沖縄県立名護高等学校の先生と生徒だ。温かく、友好的で、おらかで、同年齢の私たちに親切だった。沖縄の人たちの友好的で素朴な人柄も感じた。帰国したら周囲の人に日本の優れた文化と、日本人が友好的で温かいことを伝えたい。

○ 日本の環境はよく、山が連なり、霞が続き、本当に美しい。東京の商業地域は発展していて、日本の友人は温かく、食べ物も新鮮でとても美味しい。

日本側が、私たちに敬意を持って歓迎会、歓送会等行き届いた手配をしてくれたことに感謝する。

○ 私が最も印象深く感じたことはホームステイの時間だ。ホームステイした家のご主人がもてなし上手で、言葉は通じなくても楽しい時間を過ごすことができた。ホームステイでは今まで体験したことのないことがあった。牛舎で牛の世話をしたり、温室の大きな棚でトマトを収穫したりした。

帰国したら周りの人たちに、日本の先進的な文化と、私が日本で学んだ企業の新しい知識を伝えたい。

○ 日本の人は友好的で善良だ。日本の科学技術は独特で発展している。ホームステイした家ではお姉さんが私の面倒を見てくれ、家族のように接してくれた。老人ホームにも連れて行ってもらった。日本の最先端企業を参考に私たちはたくさんの環境保全に関する技術発展や新しい知識を学んだ。私は多くのことを得た。

○ 今回の訪問で、私が最も印象深く感じたことはホームステイ体験だ。ホームステイ先の家の皆さんの盛大なもてなしで、家庭の温かさを感じた。また、日本の風俗文化を体験した。和服を着たり、茶道を体験したり、手工芸品を作ったり、とても印象に残ることだった。地方の人情は厚く、美しい環境がある。私はそれを忘れない。帰国したら日本の文化や人情、日本人の仕事の進め方、真面目な態度を伝えたい。